

PRINCE2® プラクティショナー
(PRINCE2® Practitioner)
受験者向けのシラバス

2017年7月

はじめに

PRINCE2 プラクティショナー認定資格はプロジェクト・マネージャーおよびプロジェクト・マネージャーの受験者を対象としています。プロジェクトの設計、開発、提供に関するその他の主要なスタッフも対象となります。これには、プロジェクト委員会メンバー(例: 上級管理責任者)、チーム・マネージャー(例: 成果物提供マネージャー)、プロジェクト保証(例: ビジネス変更アナリスト)、プロジェクト支援(例: プロジェクトおよびプログラム・オフィスの要員)、運用ライン・マネージャーまたはスタッフが含まれます。

PRINCE2 プラクティショナー試験の目的は、PRINCE2 プロジェクト・マネジメント手法の受験者の適用力と応用(テーラリング)力を評価することにあります。試験で好成績をあげる受験者は、通常、実際のプロジェクトにおいてこの手法を適切に指揮して適用し始めることができます。ただし、あらゆる状況で適切にそうできるほどのスキルは持ち合わせていない場合があります。プラクティショナーが達成できる成果には、個々のプロジェクトの運営経験、プロジェクトの複雑性、仕事環境に PRINCE2 手法を使用するためのサポートといった要素がすべて影響します。

試験の概要

持ち込み可能な資料	PRINCE2 マニュアル	この試験は「持ち込み可」です。『成功のためのプロジェクト・マネジメント手法 PRINCE2®』2017 年版は持ち込み可能(本にメモを取ることも可能)ですが、これ以外の教材は使用できません。
試験時間	2 時間 30 分	母国語以外または業務で使用する言語以外の言語で試験を受ける受験者には 25% の延長が認められ、制限時間は 188 分間になります。
配点	68 点満点	68 個(パート)の設問があり、1 問につき 1 点です。点数がマイナスになることはありません。
合格点	38 点	試験に合格するには、38 問(パート)以上正解する必要があります。
思考レベル	ブルームのレベル 3 および 4	「ブルームのレベル」は、設問に答えるために必要な思考のタイプを表します。ブルームのレベル 3 の設問では、状況に応じた知識を適用する必要があります。ブルームのレベル 4 の設問では、提示された情報を分析し、行動方針が効果的/適切であるかどうかを判断する必要があります。
試験形式	シナリオ、追加情報、設問	「プロジェクトのシナリオ」では、設問で取り上げるプロジェクトの背景について説明しています。しっかり読んでください。少なくとも 1 つの設問では、「追加情報」にあるプロジェクト参加者に関する情報も活用する必要があります。
設問のタイプ	標準、組み合わせ	設問はすべて「多肢選択式」です。状況について短い説明があり、設問が続きます。「標準」の設問(1 点)では、設問とそれに対する答えとして 4 つの選択肢(A、B、C、D)が提示されます。「組み合わせ」の設問(3 点)では 3 つの情報が与えられ、5 ~ 6 の選択肢から各情報の回答を 1 つずつ選択する必要があります。

試験の形式と内容の例については、模擬試験をご確認ください。

シラバス

以下の表では、試験で知識が試される概念の概要と、それらの概念が説明されるマニュアルの主要部分をまとめています(† = マニュアルの該当セクションのすべてのサブセクション)。

学習成果 1 - PRINCE2 の原則を状況に適用する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
1.1 状況に対する PRINCE2 の原則の適用を分析する。	第 3 章 †、4.1、4.3†	BL4	8

学習成果 2 - PRINCE2 の各テーマの関連する側面を状況に適用、テーラリングする			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
2.1.1 次の項目に関する知識を取り入れながら、ビジネス・ケース・テーマに適した PRINCE2 の要件を適用する。 <ul style="list-style-type: none"> ベネフィット・マネジメント・アプローチとビジネス・ケース 推奨される役割と責任 アウトプット、成果、ベネフィット、ディスベネフィット 	6.1、図 6.1、6.2、A.1、A.2	BL3	3
2.1.2 ビジネス・ケース・テーマの適用アプローチが効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、テーマの目的と要件を考慮に入れる。	6-6.3†、4.3†、5.1、A.1†、A.2†、付録 C†、14.5.2、16.5.2	BL4	2
2.2.1 次の項目に関する知識を取り入れながら、組織テーマに適した PRINCE2 の要件を適用する。 <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション・マネジメント・アプローチ 推奨される役割と責任 推奨されるプロジェクト・マネジメント・チーム組織 	7.1、7.2†、図 7.2、7.3.1、7.3.7、A.5、付録 C†	BL3	3
2.2.2 組織テーマの適用アプローチが効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、テーマの目的と要件を考慮に入れる。	7.1-2†、7.3.1-5、7.3.7、4.3†、5.1、16.5.2、A.5†、付録 C†、15.5.2、14.5.3、16.5.3、17.5.3、18.5.3、19.5.3、20.5.3	BL4	2
2.3.1 次の項目に関する知識を取り入れながら、品質テーマに適した PRINCE2 の要件を適用する。 <ul style="list-style-type: none"> 成果物記述書、プロジェクト成果物記述書、品質マネジメント・アプローチ、品質登録簿 推奨される役割と責任 品質計画、品質コントロール、品質保証 	8.1.1、図 8.1、8.2、8.3.5、8.3.6、8.3.8-9、8.3.11、A.17、A.21、A.22、A.23	BL3	3
2.3.2 品質テーマの適用アプローチが効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、テーマの目的と要件を考慮に入れる。	第 8 章 †(8.3.10 と 8.3.12 を除く)、4.3†、5.1、16.5.2、19.5.2、A.17†、A.21-23†、付録 C†	BL4	2
2.4.1 次の項目に関する知識を取り入れながら、計画テーマに適した PRINCE2 の要件を適用する。 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト計画書、段階計画書、例外計画書、チーム計画書 推奨される役割と責任 推奨される計画アプローチ(成果物の定義と分析に対する推奨アプローチなど) 	表 9.1、9.2.1†、9.2†、9.3.1-7(詳細な見積もり技法とリソースのスケジュール技法を除く)、A.16†	BL3	3

シラバス(続き)

学習成果 2(続き)- PRINCE2 の各テーマの関連する側面を状況に適用、テラリングする			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
2.4.2 計画テーマの適用アプローチが効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、テーマの目的と要件を考慮に入れる。	9.1-3 [†] (詳細な見積もり技法とリソースのスケジュール技法を除く)、9.4.1、4.3 [†] 、5.1、14.5.2、16.5.2、18.5.2、19.5.2、A.16 [†] 、付録 C [†]	BL4	2
2.5.1 次の項目に関する知識を取り入れながら、リスク・テーマに適した PRINCE2 の要件を適用する。 <ul style="list-style-type: none"> リスク・マネジメント・アプローチ、リスク登録簿 推奨される役割と責任 推奨されるリスク・マネジメント手順 	10.2、表 10.1、10.3.2、10.4 [†] (リスクの見積もり技法と評価技法を除く)、A.24 [†] 、A.25 [†]	BL3	3
2.5.2 リスク・テーマの適用アプローチが効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、テーマの目的と要件を考慮に入れる。	第 10 章 [†] (リスクの見積もり技法と評価技法を除く)、4.3 [†] 、5.1 [†] 、16.5.2、A.24-25 [†] 、付録 C [†]	BL4	2
2.6.1 次の項目に関する知識を取り入れながら、変更テーマに適した PRINCE2 の要件を適用する。 <ul style="list-style-type: none"> 変更コントロール・アプローチ、構成アイテム・レコード、課題登録簿、課題報告書、成果物ステータス報告書 推奨される役割と責任 推奨される課題および変更コントロール手順 	11.1、表 11.1、11.2 [†] 、表 11.2、11.4 [†] 、11.3.6、A.3 [†] 、A.6 [†] 、A.12 [†] 、A.13 [†]	BL3	3
2.6.2 変更テーマの適用アプローチが効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、テーマの目的と要件を考慮に入れる。	第 11 章 [†] 、4.3 [†] 、5.1、16.5.2、17.5.2、A.3 [†] 、A.6 [†] 、A.12 [†] 、A.13 [†] 、A.18 [†] 、付録 C [†]	BL4	2
2.7.1 次の項目に関する知識を取り入れながら、進捗のコントロールに適した PRINCE2 の要件を適用する。 <ul style="list-style-type: none"> チェックポイント報告書、デイリー・ログ、プロジェクト終了報告書、段階終了報告書、例外レポート、ハイライト報告書、教訓ログ、ワーク・パッケージ 推奨される役割と責任 許容度および例外の提起 	12.2 [†] 、表 12.2、12.2.1、12.2.3、A.4 [†] 、A.7 [†] 、A.8 [†] 、A.9 [†] 、A.10 [†] 、A.11 [†] 、A.14 [†] 、A.26 [†]	BL3	3
2.7.2 進捗テーマの適用アプローチが効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、テーマの目的と要件を考慮に入れる。	12.1-3 [†] 、4.3 [†] 、5.1、14.5.2、17.5.2、18.5.2、19.5.2、20.5.2、A.4 [†] 、A.7-11 [†] 、A.14 [†] 、A.26 [†] 、付録 C [†]	BL4	2

シラバス(続き)

学習成果 3 - PRINCE2 プロセスの関連する側面を状況に適用(およびテーラリング)する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
3.1.1. 次の項目に関する知識を取り入れながら、「プロジェクトの始動」プロセスの活動を実行する。 <ul style="list-style-type: none"> 推奨される関連処置 推奨される役割と責任 各テーマの適用方法 	14.2-4 [†] 、14.4 [†] 、A.19 [†] 、14.1-6、第 6-12 章 [†]	BL3	3
3.1.2 「プロジェクトの始動」プロセスの活動/処置、役割、責任が効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、プロセスの目的と目標を考慮に入れる。	第 14 章 [†] (14.5.2 を除く)、4.3 [†] 、13.4、A.19 [†] 、付録 C [†]	BL4	1
3.2.1. 次の項目に関する知識を取り入れながら、「プロジェクトの指揮」プロセスの活動を実行する。 <ul style="list-style-type: none"> 推奨される関連処置 推奨される役割と責任 各テーマの適用方法 	15.2-4 [†] 、15.4 [†] 、表 15.1-6、第 6-12 章 [†]	BL3	3
3.2.2 「プロジェクトの指揮」プロセスの活動/処置、役割、責任が効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、プロセスの目的と目標を考慮に入れる。	第 15 章 [†] 、4.3 [†] 、13.4、A.19 [†] 、付録 C [†]	BL4	1
3.3.1. 次の項目に関する知識を取り入れながら、「プロジェクトの立ち上げ」プロセスの活動を実行する。 <ul style="list-style-type: none"> 推奨される関連処置 推奨される役割と責任 各テーマの適用方法 	16.2-4 [†] 、16.4 [†] 、A.20 [†] 、表 16.1-9、第 6-12 章 [†]	BL3	3
3.3.2 「プロジェクトの立ち上げ」プロセスの活動/処置、役割、責任が効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、プロセスの目的と目標を考慮に入れる。	第 16 章 [†] (16.5.2 を除く)、4.3 [†] 、13.4、A.20 [†] 、付録 C [†]	BL4	1
3.4.1. 次の項目に関する知識を取り入れながら、「段階のコントロール」プロセスの活動を実行する。 <ul style="list-style-type: none"> 推奨される関連処置 推奨される役割と責任 各テーマの適用方法 	17.2-4 [†] 、17.4 [†] 、表 17.1-8、第 6-12 章 [†]	BL3	3
3.4.2 「段階のコントロール」プロセスの活動/処置、役割、責任が効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、プロセスの目的と目標を考慮に入れる。	第 17 章 [†] (17.5.2 を除く)、4.3 [†] 、13.4、付録 C [†]	BL4	1
3.5.1. 次の項目に関する知識を取り入れながら、「成果物提供のマネジメント」プロセスの活動を実行する。 <ul style="list-style-type: none"> 推奨される関連処置 推奨される役割と責任 各テーマの適用方法 	18.2-4 [†] 、18.4 [†] 、表 18.1-3、第 6-12 章 [†]	BL3	2
3.5.2 「成果物提供のマネジメント」プロセスの活動/処置、役割、責任が効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、プロセスの目的と目標を考慮に入れる。	第 18 章 [†] (18.5.2 を除く)、4.3 [†] 、13.4、付録 C [†]	BL4	1

シラバス(続き)

学習成果 3(続き)- PRINCE2 プロセスの関連する側面を状況に適用(およびテーラリング)する			
アセスメント基準	書籍参照先	ブルームのレベル	配点
3.6.1. 次の項目に関する知識を取り入れながら、「段階境界のマネジメント」プロセスの活動を実行する。 <ul style="list-style-type: none"> 推奨される関連処置 推奨される役割と責任 各テーマの適用方法 	19.2-4 [†] 、19.4 [†] 、表 19.1-5、第 6-12 章 [†]	BL3	2
3.6.2 「段階境界のマネジメント」プロセスの活動/処置、役割、責任が効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、プロセスの目的と目標を考慮に入れる。	第 19 章 [†] (19.5.2 を除く)、4.3 [†] 、13.4、付録 C [†]	BL4	1
3.7.1. 次の項目に関する知識を取り入れながら、「プロジェクトのクローズ」プロセスの活動を実行する。 <ul style="list-style-type: none"> 推奨される関連処置 推奨される役割と責任 各テーマの適用方法 	20.2-4 [†] 、20.4 [†] 、表 20.1-5、第 6-12 章 [†]	BL3	2
3.7.2 「プロジェクトのクローズ」プロセスの活動/処置、役割、責任、処置が効果的かつ目的に適合するかどうかを評価する。評価には、状況、PRINCE2 の原則、プロセスの目的と目標を考慮に入れる。	第 20 章 [†] (20.5.2 を除く)、4.3 [†] 、13.4、付録 C [†]	BL4	1